

青翔開智高等学校 令和6年度 入試概況

入試結果概況

	令和4年度	令和5年度		令和6年度	
		総合型	一般	総合型	一般
募集定員	20	20		20	
志願者数	38	4	35	6	24
合格者数	32	4	30	5	15

※入試結果に青翔開智中学校からの内部進学者は含みません。

入試総評

令和5年度入試より総合型選抜と一般選抜に分けて実施しています。

総合型選抜は、面接検査として「中学校3年間の活動や研究等の実績紹介および本校での探究計画について」というテーマでプレゼンテーションしてもらい、その内容について質疑応答を行ないました。

一般選抜の選考内容は、例年通り学力検査(5教科)及び面接検査(個人面接、書類審査)でした。

いずれの選抜においても、アドミッション・ポリシーに沿った人物であるかどうかを総合的に判断して合否を決定しました。

学力検査 詳細

科目／配点	国語／50	数学／50	社会／50	英語／50	理科／50	合計／250
受検者最高点	49	45	48	50	47	228
受検者最低点	26	8	20	28	20	111
受検者平均点 5教科250点満点	41.0	23.2	37.0	41.8	32.3	175.2
合格者平均点 5教科250点満点	-	-	-	-	-	193.3

※上記は令和6年1月26日(金)実施の一般選抜「学力検査」結果に基づく数値です。

実際の合否は、学力検査・面接検査を合わせた総合判定となります。

国語

大問5題で例年より全体的に難度は低く、基本を押さえた丁寧な解答が求められました。【問題1】は、口語文法や漢字などの知識・論理展開の把握など、基礎的な知識と読解力を問う問題です。【問題2】【問題3】【問題4】はそれぞれ論理的文章・文学的文章・古文の問題です。【問題5】は複数の資料をもとに、高校生の読書量について読み取れることや、高校生の読書に関する自分自身の意見などを記述する問題です。作文問題の練習をする際は自分で書いてみるだけでなく、身近な先生に添削をしてもらい、アドバイスを参考にしながら記述力を向上するようにしましょう。

数学

構成は5題で、難度は標準でした。【問題1】は基礎計算に加えて、数字や図形の意味を理解しているかを問う形となりました。【問題3】【問題4】では基本的な関数、規則性の問題を出題しました。【問題5】は、発展的な内容ではありますが、問題文中に計算方法の記載があり、文章を正しく読み、数式に表す力があれば答えを求めることができます。言葉を正確に理解する習慣をつけていただきたいです。

社会

地理・歴史・公民の全分野からの出題となりました。基本的知識をただ覚えるだけでなく、用語・図・グラフなどから背景や理由を考え、時代の流れを大まかに捉えることができるようになることが求められました。【問題4】では、2023年に開催された「G7広島サミット」について地理、歴史の視点から今後の世界情勢について考える問題を出題しました。普段から時事問題と社会科の授業で学ぶ内容を関連づけることを意識して繋げることが大切です。

英語

全6題で構成し、基本的な文法知識・語彙力に加えて聞く力・読む力・書く力を問う内容を出題しています。【問題6】は、与えられたイラストに関して自由に英作文を作る問題です。描かれている人や物の説明だけでなく、その場面に至るまでの説明でも、その後の説明でも構いません。限られた文字数に収まり、かつ文法やスペリングのミスができる限り避けて表現しましょう。【問題6】を通して答えがひとつとは限らないことに対して自分なりの答えを見つけ出す本校の特色を意識して欲しいと考えています。

理科

全8題で出題し、実験考察を題材とした問題が中心でした。基本的な知識を問う問題に加えて、思考力を要する計算問題も合わせて出題しました。また、本校で行う探究活動においては実験方法や考察を自ら考える機会が数多くあります。そのため【問題8】では、与えられた条件から関係性を見出しグラフ作成させる問題や、考察をもとに法則をイラストで表現する問題など、測定された値がもつ意味をしっかりと把握することや、得られた数値がどのくらいの誤差が含まれているのかを把握した上で適切にデータ処理することを問いました。